

岡田ゼミ(2223研究室)

地域課題解決研究

《活動目標》

〈3年次〉

- ・日本の雇用と労働に関する法や差別禁止法理、近年の働き方改革の動向について理解を深めます。
- ・関連する文献や資料を精読し、報告やディスカッションを行います。
- ・これらの学修を通じて最終的に各自で研究テーマを決定します。

〈4年次〉

- ・研究論文等を完成させます。

《活動内容》

〈3年次〉

- ・日本の雇用と労働に関する法や差別禁止法理について学びつつ、とりわけ日本の雇用の7割を担う中小企業・小規模事業者における働き方改革や、職場において多様性(ダイバーシティ)が生み出すパワーについて考えます。
- ・必要に応じて、広島県内の企業の具体的な取り組みについても調査したいと思います。

〈4年次〉

- ・設定した研究テーマに沿って、各自で文献や資料等を収集し、定期的な進捗状況の報告を経て、研究論文等を完成させます。

※ テキスト・参考文献を含む

- ・森戸英幸・水町勇一郎[編]『差別禁止法の新展開-ダイバーシティの実現を目指して-』(日本評論社, 2008年)
- ・水町勇一郎『労働法入門-新版』(岩波新書, 2019年)
- ・三成三保・名古道功[編]『LGBTIの雇用と労働—当事者の困難とその解決方法を考える』(晃洋書房, 2019年)

《成績評価》

〈3年次〉

- ・ゼミにおける報告内容、ディスカッションでの積極性など、学修態度を総合的に評価

〈4年次〉

- ・研究論文の定期報告、最終的な完成度を総合的に評価

《E-mail》 t-okada@pu-hiroshima.ac.jp

《専門》 法学, 憲法学

《キーワード》

雇用, 労働, 性差別, 年齢差別, ダイバーシティ, 差別禁止法 等

《卒業論文題目例》

新規のため該当なし

《本ゼミの特色》

・地域文化コースの学生と一緒にゼミを行いますので、多様な観点からのディスカッションや学際的な学びが可能です。

・地域産業・地域社会の活性化にとって安定的な雇用の確保は大切な課題です。雇用や労働をめぐる様々な課題について、法の知識を活用しながら、その解決方法について考えます。

・労働法は、従属労働者の保護と企業の経済的合理性の調整を図るために制定されています。近年、「働き方改革」などが叫ばれていますが、今日の社会において、どのような働き方が望ましいか、またそれを支える雇用法制のあり方について、考えます。

・大学卒業後、多くの方は「働く」こととなります。経営者(使用者)であろうと、労働者(被用者)であろうと、職場で働くことに変わりはありません。どのような職場や働き方が、経営者と労働者にとって望ましいのでしょうか。

・職場における差別の禁止や多様性(ダイバーシティ)の促進がもたらすインパクトについて考えます。多様な人々が活躍できる職場にはどのようなメリットがあるのでしょうか。一緒に考えたいと思います。

《教員から一言》

・関連科目として、全学共通教育科目「日本国憲法」、「法学」、「人権論」、「ライフデザイン」などがあります。これらのうち、いくつか履修しておくことが望ましいです。一緒に学び合いましょう。